

研究分野		授業科目名				科目責任者	
形態系分野		形成再建外科学特論Ⅰ・Ⅲ				山下 修二	
開講年次		共通／専攻／選択		単位数			
1,2,3,4		特論Ⅰ：必須専攻, 特論Ⅲ：選択		特論Ⅰ：4(2/年), 特論Ⅲ：1/年			
目的							
形成外科疾患に関する最近の知見を得る。							
授業到達目標							
以下の疾患群について、診断、手術適応、手術法について説明できる。							
(1) 乳房再建, 頭頸部再建 (2) リンパ浮腫 (3) 顔面神経麻痺の再建 (4) 重症虚血肢の温存手術 (5) 顔面外傷, 四肢外傷 (6) 褥瘡							
授業計画							
回数	月日	曜日	時間	担当者	区分1	区分2	授業内容
1	毎週	月	8:30 - 9:30	山下 修二	講義	[抄読会・ 症例検討会]	形成外科症例検討カンファレンス [場所:13階西カンファレンス室]
2	毎週	水	14:00-16:00	山下 修二	講義	[抄読会・ 研究検討会]	形成外科に関する最新の知見を紹介し、それに対する考察・討議を展開する。 [場所:13階西カンファレンス室]
評価方法							
<b>【特論Ⅰ】</b> (1) 1年間※で、講義は30時間出席し、科目責任者から履修手帳に出席印をもらい、提出する。 (2) 1年間※で、論文紹介または症例発表を2回行い、その要約2編を提出する。 <b>【特論Ⅲ】</b> (1) 1年間※で、講義は15時間出席し、科目責任者から履修手帳に出席印をもらい、提出する。 (2) 1年間※で、論文紹介または症例発表を2回行い、その要約2編を提出する。 ただし、特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものと異なる論文(症例)であること。 特論ⅠとⅢの同年度での重複受講は不可とする。 ※1～3年生は2月末まで、4年生は11月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。33頁：単位履修方法参照。							
課題(レポート等)に対するフィードバック							
紹介論文の要約について、添削して返却する。							
教科書							
ISBN-9780323694186, Principles and Practice of Lymphedema Surgery, Ming-Huei Cheng, et al., Elsevier, 2021 ISBN-9784260036733, 標準形成外科学 第7版, 平林慎一, 医学書院, 2019							
参考書							
ISBN-9781588904669, Atlas of Microvascular Surgery: Anatomy and Operative Approaches, Berish Strauch, et.al., Thieme Medical Pub, 2006							
準備学習(予習・復習等)							
関連文献を事前に約1時間程度収集し、内容を理解しておくこと。 復習としては講義後に約1時間程度内容の分析を行い、その時点での疑問点を列挙し、その解決に取り組む。							
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連							
課題を探究し、仮説立脚、検証に至るまでの科学的的方法論、思考法を獲得する。							
注意事項・メッセージ							
各講義で実際の症例を提示し、臨床的な診断や治療についてディスカッションを行うので、議論に加われるように入念に準備をして、積極的に発言して欲しい。							